

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ⑨

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- この何年も「増収増益」でありながら、安定支給や世間相場などと論点をずらしながら出し渋ってきた。たしかにコロナ禍において経営が苦しいことは火を見るより明らかであるが、本当に2.2ヶ月という数字が妥当であると言えるのか？その数字を見て、現場第一線で働くJR労働者はそれでも会社のために、会社がいう「変革2027を推進していこう！」「頑張ろう！」と思えるだろうか？少なからず私を含め、私の周りには1人もいない。
- 企業買や間内改良、スポンサー等々、本当にいま必要なことだろうか？現場第一線で安全に従事している社員に投資できないくらいのコストカットをしているのだろうか？役員報酬は一体いくらもらっているのだろうか？甚だ不透明な経営方針に憤りを感じる！
- 我々現場で働く労働者のモチベーションは賃金である！その賃金、追加支給0.8ヶ月を勝ち取るべく最後まであきらめず闘いをつくりだしていきます！
- 社員への還元を顧みない姿勢があらわれた会社回答に憤りを感じています！
- 「人事・賃金制度の見直し」により社員間の競争を煽り、それでいて昇給試験には受からないようでは社員のやる気は出ません。唯一の希望でもあるボーナスが「下げられた」という現実「優良企業だ」なんてまやかして、非情で冷徹な会社だと全社員が認識するべきです。
- 第1四半期決算以降、赤字が拡大したことの責任が経営側にあるのではないのでしょうか？現場社員だけに負担と責任を強いていると感じています。
- 今回の回答が今後の水準になっては困りますし、恐ろしいです。会社は業績連動を否定していましたが「今年だけは連動しました」と言って欲しいです。
- 「2.2ヶ月」という数字は、コロナを理由に人件費を抑制してきた会社の意思だと言えます。対抗できるのは労働組合だけです。全てのJR労働者が労働組合に属し、団結しなくては勝てません！私たちと闘う仲間を増やしていきます。
- 2.2ヶ月の低額回答に頭にきます！本当にこの回答に納得できるのでしょうか？職場から声を出していきます！今、声を出さないと会社は「社員は満足していますよ」と胸を張って言うんです。それは嫌です！
- 夏季手当の会社回答では「0.1ヶ月分は社会的使命を果たし続けていること」への加算がありました。今回、加算がないのはおかしい！全国各地で感染拡大が続く中、エッセンシャルワーカーとして使命は続いています。0.8ヶ月分の追加支給を求めます！職場の仲間たちと共に声をあげていきます！